

第119回 ファジィ学会理事会議事録

日時：平成14年10月23日（水）15：00から17：30

場所：産業総合研究所（つくば）共同講堂 会議室

（第7期第9回理事会）

出席者

廣田、鬼沢、山田、戒野、柴田、古橋、高木、山口（記）

欠席者 湯場崎、椎塚、横川

（議事）（資料119-1、議事予定）

議事予定を参考に議事を進行。

1．スケジュールの確認

次回、第120回理事会は、12月26日 1：00から5：00とする。（開始時間を1：30より30分早める）場所は工学院大学新宿校舎とする。

次々回、第121回理事会は、2003年3月10日（月） 1：00から5：00とする。場所は青山学院大学（渋谷）とする。

2．議事録の確認（資料119-2、議事録）

議事録を承認する。

3．予算案の件（山田理事 資料119-3、途中決算資料）

収入など微増しており、やや安心できる状況となっている。

学生会員なども、多少の増加がありよい傾向である。（廣田会長）

4．電子化の件（戒野理事）

サーバーを大学に設置しているとメンテナンスのため、学会HP停止などが発生するため、業者の変更を検討中である。

5．編集に関して（鬼沢理事）

論文数も、当初目標まであと12件となっている。

会誌の名前の変更に伴いISSN番号は、1347-7986に変更される。

委員会の活動予定、募集、報告の件で意見があった。

あまりページを増やさないように簡素化し、会誌に掲載する方向とする。

ただし、活性化において、支部の活動や研究部会をウォッチする人が必要であり、事業委員会に準備する。

なるべく事業計画の段階でメーリングリスト(ボランティアのもの)をうまく利用する。

ただし、電子データの流出など、悪用されないように十分配慮する。

メーリングリストはボランティア的なもの(東工大・吉田先生)を案内に利用する。

(これは、メンバーのみ利用可能なものである)

学会誌論文投稿の件：

ファジィシンポ論文投稿のお勧めのリストなど、英文誌投稿案内と重複してしまった問題があり、改善していく。

学会名称変更に関する件：山田理事

口座も変更になる関係から、

会費請求の折込に、口座名変更の件、学会名変更の件、明示する。

1月になって会費請求(払い込みの口座の変更後)を実施。

詳細はHPに掲載する。(会誌には12月号に予告する：鬼沢理事)

関連学会、文部科学省への通知も12月に実施：古橋理事)

(事務局契約書もチェック)

6. 事業委員会報告 (柴田理事)

本 SCIS 国際会議は、230人前後の参加があり、順調である。

海外からの参加が30%程度であり国際的な国際会議となっている。

(参加国：韓国、フィリピンほか)

配布の時計の全品チェックなど多くの配慮で経費節減がうまくいっている(鬼沢)

AIST バック、ネームタグなどもやりくりしている(柴田)

これからの参加者が、収入のプラスへ貢献する。

FSS の件：

第19回 FSS を市橋先生へお願いしている。会場、組織のたたき台を会長へ予定。

第20回は村上先生(九州地方)を予定、会場は公的機関の産業総合研究所の利用も検討。

SCIS の件：

今回は東京で2004年10月(慶応大学矢上、萩原先生)を予定している。

このため、第20回 FSS は早め(8月までに)実施することが望ましい。

最短で2ヶ月のずれが必要であり第18回 FSS マニュアルの更新を行い、準備を早めていただく。できれば2004年6月実施が望ましい。

ビエン先生からの申し入れの件：廣田

次回 ISIS (第4回) は2003年9月25 - 27日、韓国、チェジュ島で実施。

SCIS との連合の申し入れがあったが、次回の第4回に関しては、すでにアナウンスも完了しており、個別実施の方向とする。もう少し様子を見ていく。

次回 SCIS のアナウンスもすでに実施しており、2004年の東京は、このままで実施する。

別件で SMC の冠を増やすとの話もあり、今後の運営で、検討していく。

7. 学生部会の活性化 (椎塚副会長、資料119-4:代理、廣田会長)

学生部会(アングル)は、江本さん(明治大学、向殿研)中心に、6,7年前のアクティビティを回復しつつあります。今後を期待します。

8. フェローの件 (椎塚副会長、資料119-5:代理、廣田会長)

最初であるので、理事会から受賞候補者を提案する。菅野、向殿、塚本、田中、水本、中津山の各先生方を推薦する。授賞式は1月11日、第2回産業技術交流会(京都パークホテル)で実施する。これらの候補者はかならずしも会長経験者でない。

評価用紙において、3ページの記述に「旧ファジィ学会を含む業績」と訂正するとよいとの意見があった。(椎塚副会長、修正をお願いします)

9. 横断型学会連合の件 (古橋理事)

NN 学会、人工知能学会がぬける可能性があるが、全体で約30学会の参加が見られる。

本学会が参加の方針とする。メールアンケートによるたたき台案を実施する。HP は SICE が作成する。

10. 科研費の件 (廣田会長)

科研費は、企画調査で出願済み。15人(会長を含めて計16名)を、4つの文科会に分けた形式となっている。申請日限の関係で、加われなたっか方もしらっしゃったことは残念である。

11. 国際会議の共催 (廣田会長)

インテック国際会議(ベトナム開催の次)は、タイ・チェンマイとの連絡があった。

1万ドルの要求などをカットし、共催のアンサーを出す。

12. IFAS へのカンセルメンバーの推薦の件 (廣田副会長)

IFSA カンセルメンバーの推薦を、選挙管理委員長 タークセンへ文書で送付する必要がある

ある。

プレジデントエフェクトは、アルバータ大 リドルフ・フェドリッツ(次期 NAFIPS 会長)の予定で、バイス・プレジデント、セクレタリーを日本側から推薦したい。

理事会の話し合いで、副会長へ古橋先生、セクレタリーへ廣田先生を推薦する。

7月 IFSA で投票がおこなわれる。

文書での推薦があるため、例題を山口庶務担当理事へ送付し、山口から直接送付する。

13. 次期 SOFT 理事の件

菊池(助教授)先生に選挙管理委員会をお願いする。

学会誌へ先に公募の案内を出す。(12月号、本件、期日的問題もあり、鬼沢編集担当理事と菊池選挙管理委員が打ち合わせし実施する)その後、理事会で対応(推薦者の選定など)を実施する。

推薦公募は、1月18日(土)締め切り(消印有効)とする。

また、理事会側からの推薦者についても話し合いを実施した。

について話し合った。

また、下記の理事の件も考慮した。

ノウハウのトランスファーの必要な、会計担当山田理事、事業担当柴田理事らを次期監事として推薦する件、編集担当を関東側から出すことになっており、高木友博先生を編集担当理事で推薦する件、など。

また、次期会長は関東より西との申し合わせも考慮することが話し合われた。

以上。